



# ファミリーニュース



編集発行 カトリック一宮教会事務局広報委員会  
〒491-0044 一宮市大宮1-7-1  
TEL (0586) 73-4884  
FAX (0586) 59-5884  
ホームページ版



## あたたかいまなざし

主任司祭 太田 実

わたしの知り合いに島しづ子さんというプロテスタントの牧師がおられます。このしづ子さんの夫は名古屋で牧師をしていましたが、1978年29才の時「穿孔性胃潰瘍」で突然、妊娠9カ月のしづ子さんと3才と2才の男の子を残して帰天なさいました。しづ子さんは夫の死後3週間して陽子さんとおっしゃる女の子を出産しました。

3人の小さな子どもたちを抱え生活に追われながら、しづ子さんは夫の遺志を継ぎ、牧師資格を取得するために猛勉強をしました。ところが、今度は陽子さんが百日咳に感染し、引きつけを起こし、脳波が平坦になり、何度も心臓も止まりました。主治医からは「99パーセント助かりませんし、助かったとしてもこのように器具をつけたままです。これだけ脳波が平坦に近づくと希望はもてません。これからかなりきつい治療をします。万一助かっても、重い障害が残りますがその治療をしてもいいですか」と宣告されましたが、ひたすら「助けてください」と主治医に同じ言葉を繰り返しました。その時相手をしてくれた小児科病棟の主任看護師から「お母さんは変わっていますね。普通の親は障害が残るといって、死んだ方がましですって言いますよ」と言われたそうです。

やっと牧師資格を得たしづ子さんは、「夫を失った悲しみが癒えておらず、もう失いたくないという気持ちと、仕事を理由に幼い子の病いを見落としてしまっ、このまま死なせたら、牧師はやめよう、とまで思い詰めて」いました。

人工呼吸器と点滴だけで生きる陽子さんを見つめ、しづ子さんは「自分たちは神の領域を侵そうとしているのではないだろうか。神がもう連れていこうとしている子を無理やりひきもどそうなんて不遜な願いではなからうか。」と悩みました。もしそうだとすると、「神様、この子を助けて下さい」と祈っていたそうです。

母子と医師、看護師、周囲の方々の懸命の努力によって陽子さんの病状は、次第に安定したものとなり、やがて呼吸器をはずして自分で呼吸し、部屋の外に出られる日が来ました。

自力呼吸ができるようになって、口から栄養をとる訓練があり、これにも何とか成功して、入院から10カ月後に陽子さんは退院しました。しかし陽子さんの足はだらんと伸びたまま、手はものをつかめず、首も据わっていませんでした。

陽子さんは「百日咳脳症による起座不能な体幹機能障害」という一種一級の障害名を持ち、寝返り、歩行は不能、話もできない状態ですが、多くの方々の温かいまなざしのもとで何とか生きながらえました。

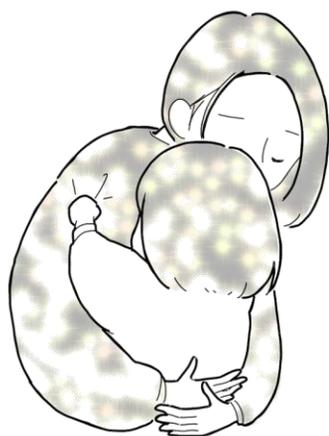
母親のしづ子さんは、陽子さんを世話しながら何度も「もう死ぬのではないか」という不安に駆られ、まるで死に振り回され、死の影におびえる毎日であったそうです。そうしたしづ子さんを支えたのは、教会の仲間たちであったと言います。

1995年1月26日陽子さんは16歳9カ月で天国に召されました。母親のしづ子さんは『あたたかいまなざし』の第3版の終わりに、その時の経緯をしるしておられます。その一部を紹介いたします。

陽子が15年前に最初の入院をして浅野医師から「99パーセント助かりません。助かったとしても器具を付けたままでしょうし、重い障害が残ります。」と言われた時、わたしの願いは「神様たった一度でいいから、この子の温もりがある内にこの胸に抱かせて下さい」という祈りでした。器械やチューブにつながれた娘を目の前にしながら抱くこともできなかったからです。たった一度ばかりか、神様は15年間手元に置いて下さいました。その間に特にベッドに伏すようになってから、陽子は神様のご用を十分に果たしました……

今しばらく哀しみは続くでしょうが、陽子の上に働き、陽子を使い尽くして下さいった神に感謝でいっぱいです。かつて祈りました。「陽子を守ることと仕事をするを両立させて下さい」と。神様は不思議な方です。足手まといだ、と思われていた陽子を用いて、わたしがどんなに働いてもできない仕事を見せて下さいました。

名古屋教区の中高生会の春フォーラムで、島しづ子先生にお話しをお願いしたことがありました。しづ子先生は、陽子さんを乳母車に載せて会場の神言会多治見修道院に來られました。そのときのお話しの内容は忘れてしまいましたが、乳母車の中で陽子さんが微笑んでいたことをよく覚えています。



## 黙想会のお知らせ

日 時 11月27日(日)10時ミサ後  
指導司祭 太田 実神父

講話は10時ミサ後の1回だけです。お間違えのないようご注意ください。



## 七五三特別祝福のお知らせ

11月13日(日)10時のミサにて七五三祝福式を行います。

該当者にはハガキでご案内していますが、それ以外のお子様もぜひご参加下さい。

ささやかですが、プレゼントを用意してお待ちしています。



## 訃報

(時之島地区)

✠ 印刷版に掲載しています

2022年10月4日 帰天



永遠の安息をお祈りいたします

2022年11月のミサの意向 (10月28日までの申し込み分)

印刷版に掲載しています。  
教会入口のスタンドにあります

